

報道関係者各位

(兵庫県阪神南県民センター事業)
一般社団法人リベルタ学舎

学生が、自治体職員と一緒に政策立案チャレンジ！

中高生が企画運営する第1回「未成年ホンネのBAR」、西宮で開催

2023年のこども家庭庁の発足をきっかけに、政策に子どもの声を反映させる試みが各地で始まっています。しかし日本の10代は政治不信が高く、社会への関心が低いため、なかなかリアルな「声」を聴くことができません。そこで阪神南県民センターは、所管する尼崎市・西宮市・芦屋市の中高生が自ら行う政策立案チャレンジを実施いたします。

<ポイント>

- ・ 7月27日(土)、3市合同の中高生実行委員会によるキックオフイベント実施
- ☑ 中高生20名が、地域自治体職員も交えて8月～11月の4回にわたりワークショップ
- ・ 経済産業省職員や元楽天の渉外担当が、最新の政策立案をアドバイス

■「したら変わった」経験をつくる

日本の高校生は、「政策に対する意見表明活動」への関心度が12%台で、比較対象のアメリカ・中国・韓国の中で最下位である。その理由のベスト3は、「しても何も変わらない」「社会からの理解を得られない」「機会がない」(令和3年度/国立青少年教育振興機構調査)。

そこで中高生に「政策提言をしたら、本当に社会が変わった」経験を提供するのが、本事業です。政策提言の専門家からアドバイスを受けながら、自治体職員も交えて地域社会の課題を発見し、それを解決する政策を立案して提言する、4か月にわたるプログラムです。

政策は、2024年11月16日(土)開催の「阪神地域みらいづくりフォーラム」内で発表します。

■企画・運営も中高生チームが実施

本プログラムの実施にあたり、対象地域である尼崎市・西宮市・尼崎市の中高生5名が、実行委員会を組成。それまで面識がなかった中学3年生から高校3年生のメンバーが、対面とオンラインで打ち合わせを重ね、7月のキックオフイベントの内容や名称を決定し、チラシの制作をしました。イベント当日の運営も担当します。

<実行委員会>5名

芦屋市内中学に通学する中学3年生女子2名
西宮市内高校に通学する高校2年生男子
尼崎市内高校に通学する高校3年生男子、高校1年生男子

▶森本葉（中学3年生）

「学校で面白いのは文化祭か体育祭くらいで、これを高校卒業まであと3、4回繰り返すのは辛いなと思っていたので、参加しました」

▶尾方花凜（中学3年生）

「神戸市内から芦屋の学校に毎日通っているのですが、隣の市なのに芦屋がどういうところかわかっていないので、知りたいなと思いました。私は国際問題に興味があるので、この機会に、改革というのをしてみたいと思っています」

▶邑智颯駕（高校3年生）

「もともと地域活性化に興味があり活動をしてきて、若者の意見をもっと大人にきいてもらいたいと思ってきました。たとえば役所の方には、大人相手ならダメということも、子ども相手だから実現を手伝ってほしいと思っています」

●キックオフイベント「未成年ホンネのBAR」（※チラシ別添）

中高生がふだん思っても口に出せない「本当は学校でやってみたいこと」を、大人がバーのマスターに打ち明けるように、本音で話してみるイベント。「では実際にどうやったら実現するか？」をゲストと共に考えてみることで、政策提言のイメージをつかむ。

日時：7月27日（土）14：30～16：00

会場：共創書庫 136g（兵庫県西宮市甲風園1丁目）

定員：25名

詳細・お申込み：<https://web.pref.hyogo.lg.jp/hsk08/kenmintanto/chukousei.html>



ゲスト：小木曾稔氏（政策渉外ドゥタンク・クロスボーダー 代表取締役）

1994年運輸省（現・国土交通省）入省。2006年楽天に入社。12年の新経済連盟の活動開始より政策部部長として政策提言作成業務に従事。現在、東京都デジタルサービスフェローも務める。Forbes JAPAN誌「日本のルールメーカー30人」選出。

■年間スケジュール

7月27日（土）：イベント実施後プロジェクト参加メンバー公募開始（中高生15名程度）

8月25日（日）：Day1／プロジェクトキックオフ。チーム組成・課題発見・仮説立案

9月8日（日）：Day2／チーム別に地域フィールドワーク

10月6日（日）：Day3／経済産業省のゲスト（※）を迎えて、兵庫県・尼崎市・西宮市・芦屋市の職員と共に、政策立案チャレンジ

※ 10月6日ゲスト：水口怜齊氏（経済産業省）

2017年経済産業省入庁。スタートアップ支援や2025年大阪・関西万博、RIETIコンサルティングフェロー、ヘルスケア産業振興等に従事しつつ、省庁への政策デザイン普及・実装を目「JAPAN+Dプロジェクト」の立ち上げ・運営に尽力。プロボノとして図解総研「政策図解」プロジェクトにも参画。

10月20日（日）：Day4／プレゼンテーション作成

11月16日（土）：阪神地域みらいづくりフォーラムにて発表

■お問合せ 一般社団法人リベルタ学舎

info@Lgaku.com

078-599-9381